

目 標	全体目標	こころの健康	次世代の健康	高齢者	健康を支え、守るための社会環境の整備	歯・口腔の健康
主な指標	①平均寿命の延伸の増加分を上回る健康寿命の延伸をはかる ②県内の各地域の健康格差の縮小をはかる	⑮自殺者数の減少 ⑯気分障害(躁うつ病を含む)の患者数の減少	⑰朝食を欠食する小学5年生の割合の減少 ⑱子どもの週3回以上のスポーツ実施率の増加 子どもの週3回以上のスポーツ非実施率の減少 ⑲全出生中の低出生体重児の割合の減少 ⑳小学5年生の肥満傾向の割合の減少	⑳介護保険サービス利用者の増加の縮小 ㉑ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している20歳以上の県民の割合の増加 ㉒低栄養傾向の高齢者の増加の抑制	54.「未病改善」の取組を行っている人の割合の増加 55.未病センターの利用者数の増加 ㉔健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている県民の割合の増加 ㉕健康づくり事業等において、健康格差への対策を図っている市町村の増加	㉘60歳代における咀嚼満足者の割合の増加 ㉙80歳(75～84歳)で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加 ㉚60歳(55～64歳)で24本以上自分の歯を有する者の割合の増加 ㉛40歳(35～44歳)で喪失歯のない者の割合の増加 ㉜20歳代における歯肉に異常所見の無い者の割合の増加 ㉝40歳代における進行した歯周疾患を有する者の割合の減少 ㉞60歳代における進行した歯周疾患を有する者の割合の増加 51.3歳児でむし歯がない者の割合が80%以上の市町村の増加 52.12歳児の1人平均むし歯数が1.0未満である圏域の増加 53.過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加
全体	○ 県・市町村・関係団体が、それぞれの専門性を生かし幅広い分野で連携しながら、「健康寿命の延伸と各地域の健康格差の縮小」の推進に向け健康づくり事業に取り組みました。	○ あらゆる世代を対象に、こころの健康づくりを推進するため、電話相談やリフレッシュのためのウォーキングイベント、講演会などを行いました。 ○ 自殺対策として、働く世代をターゲットとした相談や講演会の開催、また、ゲートキーパー等の人材育成を行いました。	○ 幼少期から食事や運動習慣など健康的な生活習慣を身につけるため、アニメキャラクターなどを活用したわかりやすい普及啓発や学校に対する体力向上サポーターの派遣、子どもの生活習慣病予防対策教室などを行いました。 ○ 食育を推進するための体制整備や人材育成を行いました。 ○ 低出生体重児の要因といわれる妊娠前・妊娠期の母親の適正体重の維持や喫煙、飲酒等の生活習慣の改善について、保健指導を行いました。	○ 要支援・要介護状態の予防のため、高齢者の食生活改善や認知症未病改善としてコグニサイズの普及、高齢者が無理なく取り組める体操や運動の推進、介護予防や健康づくり実践者の養成などを行いました。	○ 未病改善に役立つ総合的な情報や学習情報・スポーツ情報など、県民が健康づくりの実践に参考となる情報を提供しました。 ○ 食生活改善推進員、8020運動推進員、未病サポーター、地域で健康づくりを支えるボランティアの育成を行いました。 ○ 未病センターの設置や公園への健康測定器具の設置など、県民が健康づくりに取り組むしやすい環境整備を行いました。 ○ 公園内にウォーキングルートを設定。スタンプラリーやウォーキングの記録で健康増進を進めやすい環境を整備しました。	○ 関係機関及び関係団体と連携し、ライフステージに応じた歯及び口腔の健康づくりを推進しました。特に、高齢者の口腔機能の虚弱化(オーラルフレイル)対策のため、予防改善プログラムの確立や普及啓発を行いました。 ○ 8020運動推進員を養成し「健口体操」の普及活動等、地域で活躍するための支援を実施しました。
県	・ 人生100歳時代を見据え、健康寿命を延ばし、いつまでも元気でいきいきとらせる社会の実現に向けて、県民一人ひとりの生活習慣の改善による健康づくりを促進するための環境整備を県民運動として推進しました。 ・ 健康づくりに加え、疾病の早期発見、適切な治療管理による疾病の重症化予防、さらには介護予防や介護サービスの充実、地域のつながりの強化等の多分野の取組みの総合的な結果として、健康寿命の延伸と健康格差を縮小するよう取り組みました。	・ 若年層を中心に幅広く利用されているLINEを活用し、電話にハードルを感じる方に相談しやすい窓口を提供し、こころの健康に関する相談に広く対応しました。 ・ 平成30年3月に「かながわ自殺対策計画」を新たに策定し取組を進めています。 ・ 自殺対策の総合的な推進を図り、自殺予防のための普及啓発、ゲートキーパー等の人材養成、うつ病対策、多職種専門チームによる訪問支援、自殺未遂者や自死遺族への支援等を、関係機関・団体等と連携しながら幅広く取り組みました。 ・ こころの健康づくり等を推進するために、あらゆる世代や対象に向け、健康に関する普及啓発や相談機関の周知や従事者の研修等を行いました。 ・ こころの病気がどうかの不安や、生活・仕事に関する悩み等の相談を受けるため、フリーダイヤルによる「こころの電話相談」を実施しました。(こころの電話相談相談件数) ・ 働く世代のメンタルヘルス対策のため、相談や講演会を実施しました。 ・ 自然・歴史などを紹介しながら歩き、自然環境の魅力を感じてリフレッシュできるウォーキングイベントを開催しました。	・ 企業・団体・大学等と連携し、県内の幼稚園や保育所等で、子どもの未病対策に資するプログラムを提供しました。 ・ 幼少期から健康的な食習慣を身につけるために、保護者はもとより教育・保育に携わる方、関係団体等が連携して、食育を推進するための体制整備を行いました。 ・ 子どもの頃から、食事や運動習慣など健康的な生活習慣を身につけることの重要性を普及啓発する九都県市共同の取組みとして、共通で使用できるポスターを作成し、県内の小学生及び未就学児が通う施設へ周知を図るとともに、デジタル・コンテンツを作成し、トレーニング・大型ビジョン等へ掲載して周知を図りました。 ・ アニメキャラクター「かながなぞく」を用いて、食事や運動習慣など健康的な生活習慣を身につけることの大切さを普及する内容のリーフレット「かながな練習帳」を作成し、県内全ての小学校及び幼稚園・保育所等に配布しました。 ・ 未就学児の基礎的な運動機能の発達と体力の向上を促し、健やかな成長を支援するため、就学前児童の教育・保育に従事する指導者向けの「運動」に関する研修を行いました。 ・ また、食育の視点から、子どもの発育・発達に応じた食べる力を育むための人材育成等を行いました。 ・ 子どもの体力・運動能力の向上、運動習慣の確立、生活習慣の改善のため、学校の体力向上の取組みを指導する体力向上サポーターの派遣(R3まで実施)や体力向上キャラバン隊、夏休みのラジオ体操の普及活動などを行いました。	・ 高齢者が、自らフレイルを早期に発見し、未病改善の取組を実践できるようにするため、市町村や関係団体等と連携しながら自己チェックの機会を提供するとともに、食・運動・社会参加の重要性について啓発を図りました。 ・ 高齢者の社会参加・支え合い体制づくりや高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施等の取組等、近年の市町村介護予防事業に対応した人材を養成しました。 ・ 認知症のリスクを軽減するため、コグニサイズの普及を図りました。 ・ ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の知識を普及するとともに、高齢者が無理なく楽しんで取り組める散歩や運動を促す取組みを進めました。 ・ 高齢者でも無理なく楽しんで運動に取り組めるよう、ノルディック・ウォーキング体験会などの機会を提供しました。	・ 地域が主体となって実施する健康体操など、高齢者の「居場所」と「出番」を確保する取組みを支援するため、市町村・老人クラブとの連携、協働の事業を開催しました。 ・ シニア劇団の運営やシニアダンス企画、障がい者が参加する舞台公演等を実施することで、文化芸術の面から共生社会の実現や未病の改善を後押ししました。 ・ 県内の介護保険、人口動態統計などの健康指標について、定期的な情報収集・分析・提供を行いました。 ・ 県民が健康づくりに主体的に取り組んでいる状況や、地域の特徴を踏まえた健康対策の取組状況について、情報収集・提供を行いました。 ・ 歯及び口腔の健康づくりに主体的に取り組む8020運動推進員の養成と育成を行いました。 ・ 地域における「未病改善」に係る取組みの普及を図るため、「未病サポーター」の育成を行いました。 ・ 県民の未病改善の実践を支援するため、手軽に健康状態や体力等をチェックし、その結果に基づくアドバイスや未病改善に関する情報提供を受けられる「未病センター」の設置を促進しました。 ・ 企業・団体などに未病改善の普及啓発などに協力いただく「かながわ未病改善協力制度」を推進しました。 ・ 企業・団体において「健康経営」を進めました。「労働生産性」といった経営指標を調和的に改善させることにより、企業全体のパフォーマンスを向上し、その結果として企業の経営価値向上に資する取組を実施しました。 ・ 未病改善の実践に役立つ情報を総合的に提供するインターネットサイト「かながわ健康長寿ナビサイト」を開設しました。 ・ 生涯学習情報システムなどの活用により、学習情報・スポーツ情報を提供する環境を整備し、生涯学習情報システムでは、平成28年度に33,923件の情報を提供しました。 ・ 県民が気軽に健康測定を行えるよう、公園に健康測定器具を設置する取組みを行いました。 ・ 県西地域を「未病の戦略的エリア」としてアピールする拠点施設「未病パレー「ピオトピア」」において体験型施設を運営し、未病改善の実践を促進しました。	・ オーラルフレイル改善プログラムを開発し、普及しました。 ・ オーラルフレイルに対応可能な歯科医療機関を増やすため、研修や検査機器の貸与をしました。 ・ 病院や高齢者施設において、オーラルフレイル対策と口腔ケアを一体的に対応できるリーダーを育成するための研修を実施しました。 ・ 歯及び口腔の健康づくりに主体的に取り組むオーラルフレイル健口(8020運動)推進員の養成と活動支援を行いました。 ・ 県民に対する歯周病検診と口腔ケア指導を実施しました。 ・ 乳幼児・歯肉炎に対し、むし歯多発傾向児への早期対応や、むし歯や歯肉炎の予防に関する情報提供(フッ化物応用やむし歯のリスク等)、よく噛むことへの支援として「噛ミング30(かみんぐさんまる)」を普及しました。 ・ 成人に対し、歯周病検診、歯間清掃用具の普及、歯及び口腔の健康が全身の健康に与える重要な役割についての情報提供、出前講座等による職場での健康啓発等を通じ、歯及び口腔の健康づくりを推進しました。 ・ 高齢者に対し、口腔機能の虚弱化(オーラルフレイル)対策のため、予防改善プログラムの確立や、普及啓発を行いました。 ・ 歯及び口腔の健康づくりを推進する県民のボランティアである8020(はちまるにいまる)運動推進員を養成・育成し、8020運動推進員による健口体操の普及等の活動を通じ、県民主体の歯及び口腔の健康づくりに取り組みました。 <i>8020運動推進員の養成人数推移</i> ・ 関係機関・団体と連携して、イベント等の場で「健口かながわ5か条」の普及を行い、歯及び口腔の健康づくりを推進しました。
市町村	・ 健康増進計画に基づき、市町村の実態に応じた健康づくり事業を行いました。 ・ 住民に身近な拠点で健康相談や健康教育など行うとともに、各分野の関係団体と連携し、健康づくりに関する情報提供やパンフレット等による普及啓発を行いました。 ・ 住民が自ら取り組む健康づくりを支援するため、健康づくり指導者の育成や支援、地域コミュニティの活性化を図る等の取組みを行いました。	・ ゲートキーパーの養成や研修による、人材育成を行いました。 ・ メンタルヘルス相談、産後メンタルヘルス相談の実施や、自殺対策のための普及啓発を行いました。 ・ 働く世代のこころの健康づくりのため、疲労度やストレス状態の自己チェック票の配布、相談を行いました。	・ 低出生体重児の要因といわれる妊娠前・妊娠期の母親の適正体重の維持や喫煙、飲酒等の生活習慣の改善について、保健指導を行いました。 ・ 学校においても、適切な食習慣を身につけるための食育を推進しました。 ・ 地域で子育てのしやすい環境をつくっていくため、子育てに関する幅広い情報提供や親子で楽しめる体験ができる子育てフェアなどを開催しました。 ・ 子どもの生活習慣病予防対策教室を開催し、食習慣などの指導を行いました。 ・ 妊産婦健康診査、乳幼児健康診査の実施と育児教室を開催しました。	・ 高齢者の食事や栄養の改善を図るため、介護予防事業や栄養改善事業などで、食生活に関する普及啓発や保健指導を行いました。 ・ ウォーキングイベント、運動教室、脳と体を同時に動かすコグニサイズの講座を開催しました。 ・ フレイルサポーターを養成する講座を開催しました。 ・ 食事の支度が困難な一人暮らし高齢者または高齢者のみ世帯に、安否確認を兼ねて食事を自宅へ届ける配食サービス事業を実施しました。 ・ 認知症サポーター養成講座を開催しました。	・ 地域包括ケア等に関わる協議体の整備がされました。 ・ 住民の生活習慣や地域の社会資源、健康状態や影響する要因等を加味した効果的な健康づくりが進められました。 ・ 家庭や地域で食生活改善活動を実施する食生活改善推進員(ヘルスマイト)を養成しました。 ・ 地域で健康づくりをサポートするボランティアの育成のための研修会を行いました。 ・ 未病改善の基本である「食」「運動」「社会参加」の観点から、健康相談会及び未病改善セミナーを実施しました。	・ 児童・生徒が主体的にむし歯や歯肉炎予防に取り組む力を高めるため、歯と歯肉の自己観察の方法などの普及啓発を学校等で行いました。 ・ 歯科相談や歯磨き指導、特定の年齢の方を対象にした歯周病検診を市町村保健センターなどで実施しました。 ・ 8020運動推進員が地域で活躍するための支援を実施しました。 ・ イベント等で、関連団体と協力し、う蝕、歯周病、オーラルフレイル予防等に関する普及啓発を実施しました。 ・ 歯科衛生士による学校歯科巡回指導を行い、口腔衛生指導リーフレットを配布しました。 ・ 口腔がんの早期発見、早期治療のための口腔がん検診を行いました。 ・ 在宅療養者の口腔ケア普及啓発、地域基盤整備のため研修を開催しました。
関係団体	・ 健康寿命100歳プロジェクトをつくり健康増進に関する講話を開催しました。	・ 県立都市公園における森林セラピー体験ウォークを実施しました。 ・ 市民公開講座等においてこころの健康づくりや自殺予防に関する普及啓発を行いました。 ・ 企業社員に対してストレスチェックを実施し、集団分析で職場改善につなげました。	・ 市町村祭りなどの機会を捉え、子ども達へ栄養・健康相談を行いました。 ・ 団体が実施するスポーツ教室で、子ども達がスポーツを体験する機会を提供しました。	・ 介護予防エクササイズの普及啓発を行いました。 ・ 市民公開講座やイベントなどで、栄養や運動に係る普及啓発を行いました。 ・ 看護職員に向けた認知症対応力研修を開催しました。 ・ 各市レク協会と協同でニュースポーツ体験会を開催しました。	・ 県や市町村が行う健康づくり講演会等に対して、講師や指導者の派遣などの連携を行いました。 ・ 各種団体の連携による、講演会等の健康づくり事業を行いました。 ・ 研修会を開催し、健康づくりに従事する指導者を育成しました。 ・ 看護だよりを発行し、看護に関する情報を病院等施設、公共施設に配付及びホームページに掲載しました。 ・ 看護職員資質向上の支援のための研修や、ストレス緩和できる研修を開催しました。	・ 歯科保健情報誌を発行し、歯及び口腔の健康づくりに係る普及啓発を行いました。 ・ イベント会場で歯科検診を行うなど、歯科検診の重要性の普及を図りました。 ・ フランキング等の相談指導や、特定の年齢の方を対象にした歯周病検診を実施しました。 ・ 地域において、歯と口腔の健康づくりを推進するボランティアである8020運動推進員と協働して、県民運動と連携した普及啓発を行いました。 ・ 歯科医療従事者及び医師、管理栄養士など多職種の医療従事者を対象に、糖尿病医科歯科連携研修会を開催しました。 ・ 高齢者・障害者の在宅歯科医療にかかわる診療・口腔ケア等の実技を研修する在宅歯科医療実践研修会や歯科医師認知症対応力向上研修会を開催しました。 ・ 学校歯科保健に関する問題解決へ向けての協議会を設置し対策を検討・実施しました。